

でも、なかとんで本当にやれるの？

—観光分野の専門家が見た、中頓別の可能性トーク—

国内外の一流の観光地域づくりを知る、中頓別との関わりが深い方たちの意見です。

(有)デジタルコンテンツ代表 山崎 一

映像作家として全道で撮影していますが、これだけの美しい風景映像を撮影できる町は珍しく、正直びっくりしました。パノラマで見られるような高台では必ずと言っていいほど送電線や携帯のアンテナなど人工物が映り込んでしまっていますが、ハイジの丘から広がる景色にはそれがない絶景が広がりました！ 地元の方が慣れている風景に大きな価値があると思いますので、今後の季節が楽しみです。

東京農工大学大学院 客員教授 福井 隆

これまで、世界中のたくさんの観光地を見てきました。そこで思うのは、中頓別の「自然景観の素晴らしさは世界と勝負ができる！」パーフェクトな自然景観をゆったり満喫し、おもてなしを提供できる宿泊・滞在拠点をつくっていただければ、ドイツ・フランス等のヨーロッパのお客様がたくさん来てくれると思います。

北海道アドベンチャートラベル協議会 会長 荒井 一洋

ピンネシリ岳、頓別川、鍾乳洞、ハイジの丘など、この土地の特徴を実感できる所がたくさん。世界中のお客様が求めるオーセンティック(本物)な体験プログラムをひとつずつ丁寧に作り上げて欲しい。お手伝いします！

北海道大学観光学高等研究センター 特任教授 木村 宏

「道の駅」「ピンネシリ温泉」「そらや自然学校」「スキー場」などの観光関連施設を、トータルに経営することが重要。その際は、中長期の滞在を意識して「お客様目線」に徹底的にこだわること。中頓別町のこれからの観光地域づくりに、大いに期待しています。

まちづくり観光デザインセンター 代表 かとうけいこ

長期滞在した台湾の学生、婚活プロジェクトでやってきた道外在住の女性が感動したものは「心優しいなかとんの人たちとの時間」と、星空、そして豊かな食文化でした。中頓別には一流のおもてなし力があります。

(株)北海道宝島旅行社 社長 鈴木 宏一郎

旅行会社の立場から言うと、地元の方々が、中頓別の楽しみ方を「物語」としてまとめてくれるのであれば、お客様にご案内が難しいです。コテージに宿泊したら、どんな体験プログラムや町民との交流が楽しめるのか？ その料金や申し込み条件等をまとめてコーディネート、おもてなしをしてくれる組織づくりをお願いします。

各期における具体的な事業展開(案)

第1期:3年間 平成29(2017)~31(2019)年度

組織づくり、基本データ収集、コテージ整備、ひとづくり

2017-2019

- 施策① 中核となる持続発展的に観光地域づくりを進める組織(DMO)を新たに組成する。⇒中頓別観光開発(株)、中頓別観光協会、そらや自然学校の事業等を合併して、「なかとんべつ観光まちづくり会社(仮称)」を新たに設立する(事業領域の決定、経営人材とスタッフの確保、財政基盤の確保などについて検討)。
- 施策② ピンネシリ地区の再開発。コテージ及び周辺の再整備。
- 施策③ まちなか地区の再開発(「地域まるごとホテル」への挑戦)。
- 施策④ ワングレード上の中長期滞在交流コンテンツの企画開発とひとづくり。

第2期:4年間 平成32(2020)~35(2023)年度

1人当たりの宿泊滞在日数を増やし、消費単価を上げる

2020-2023

- 施策⑤ ピンネシリ地区の再開発(温泉の再整備、道の駅周辺の再整備)。
- 施策⑥ 中頓別町を拠点として楽しむ、道北エリアの滞在交流コンテンツの情報発信と提供。
- 施策⑦ 中頓別町、道北エリアの滞在交流コンテンツのブラッシュアップ。
- 施策⑧ 新会社が、道北全体の楽しみ方をPR・ご案内する旅行会社機能の整備。
- 施策⑨ 町民全体を対象に、観光地域づくり勉強会による、機運醸成の実施。

第3期:3年間 平成36(2024)~38(2026)年度

来訪者の総合満足度を向上させる

2024-2026

- 施策⑩ 第1期、第2期による7年間の取り組み成果を、次の10年間の「観光地域づくり」の展開に確実につなげるための検討と、構築しとなる施策を実施する。

組織図(案)



中頓別町長 小林 生吉

未来への期待、可能性への挑戦。いよいよ、中頓別の観光地域づくりが動きだします。「ずっとここで過ごしたいな」「いつか、ここで暮らしてみたいな」。訪れた人にそう思ってもらえるように、地域の魅力を伝え、もてなすことができたらこの町も大きく変わるはず。厳しい自然の中で生き抜く強さを自信に変えて、誇り高く暮らしていきます。中頓別の魅力を再発見し、しっかり磨き上げていきましょう。地域で支え合う優しさで、もてなしの心を極め、交流を広げていきましょう。地域にあるものを活かし、新たな価値や生業(なりわい)を生み出していきます。新たな立ち上げを目指す「なかとん観光まちづくり組織(仮称)」は、そうした活動を展開していくための拠点となります。町の叡智を集め、想像力豊かに、中頓別の観光地域づくりを推進していきたいと思えます。町民のみならず積極的な参加、力強いご支援をお願い致します。

平成30年1月

中頓別町産業課産業グループ

〒098-5595 北海道枝幸郡中頓別町中頓別172番地6
TEL:01634-6-1111(代) FAX:01634-6-1155

中頓別の観光地域づくりを、推進していきます。

今はこんなカンジですが



観光地域づくりでめざす、中頓別の姿

地域固有の文化や伝統の保持・発展を図り、魅力ある観光地域づくりを行うことは、地域の連帯を強め、地域住民が誇りと生きがいをもって生活していくための基盤になります。そして、移住やU・Iターンという形の新住民が増えるきっかけにもなります。



旅人が地元の方と交流すると、産業や伝統文化に魅力を感じ、心に残る感動を得ることができます。一方、地元の皆さんも、暮らすように中頓別で過ごしたい旅人と触れ合う、中で「中頓別の真の魅力とは」、「次の世代に引き継がなくてはならないものとは」、「中頓別に足りないものは」を深く考え、行動するようになります。新たな組織を立ち上げる今、さらに魅力的な中頓別町にしていくために、自分たちが「何をしたいか?」「何ができるか?」「何をすべきか?」を考え、みんなでがんばって取り組んでいきましょう。

新しく立ち上げる組織と一緒に、なかとんの観光地域づくりをみんなで盛り上げていきましょう!

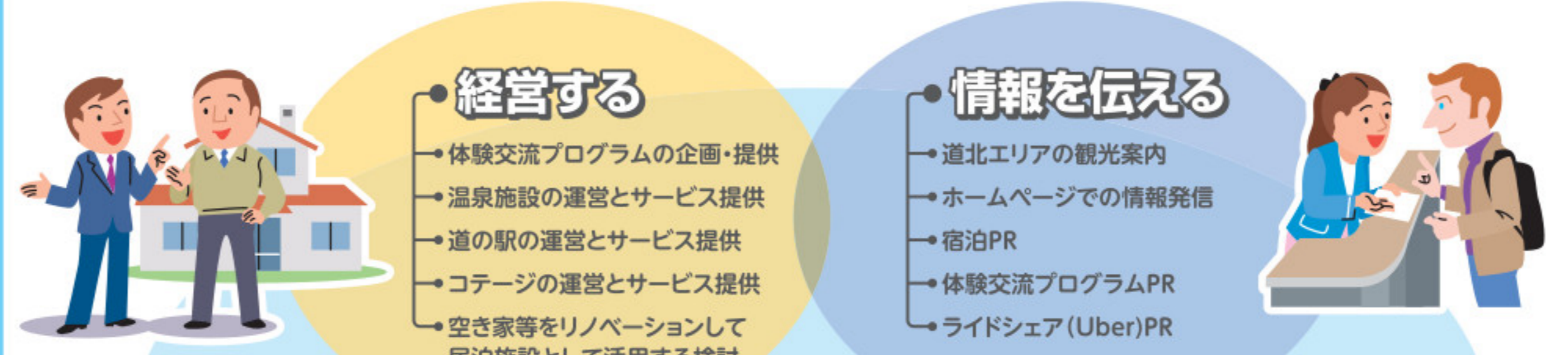
- 中頓別観光開発(株)の機能
- 中頓別観光協会の機能
- そや自然学校の機能
- 農業体験交流施設の機能

4つの組織がこれまで担ってきた機能をまとめて、地域が一体になった観光地づくりを行う新組織を立ち上げます。

なかとんべつ観光まちづくり組織(仮称)

新組織は、地域の『稼ぐ力』を引き出します。

地域への誇りと愛着を醸成する『観光地経営』の視点に立った舵取り役となります。町内の多様な関係者と協働しながら、戦略を策定し、着実に事業を運営します。



地元発のイベントでおもてなし

有志で始めた、夏のイベント「全日本水風船キャッチ選手権大会」は前回で6回を数え、新しい町の名物行事として定着してきています。まちおこしにもつながってきたいイベントです。



中頓別町まちおこしイベント協会会長 宮崎 泰宗さん

夢は生乳を使った加工品づくり

3年前、静岡県から新規就農者としてきました。夫婦2人で70頭ほどの牛を飼っています。いつか、チーズやアイスといった乳製品を作り、移動販売もしたいと思っています。



酪農家 澤里 尚広さん

アウトドアフィールドへ誘う

自分自身がアウトドアを楽しみ尽くし、地元の魅力を伝えるガイドを目指します。「中頓別は人が少ないのでいっそう大自然が味わえるわ!」と喜んでくれるお客様を一人でも多くお迎えしたいです。



そや自然学校スタッフ(地域おこし協力職員) 北川 直樹さん



交流と情報発信としての道の駅

旅人と町民が最初に出会う確率が高い場所です。心からのおもてなしをしたいと思います。地元の特産品が店頭並び、必要な情報を提供できる道の駅にしていきたいですね。



道の駅「ピンネリ」スタッフ 秋庭 裕子さん

菓子店を承継、そして開業

閉店した菓子店を継ぎ、2018年4月開業予定で準備中です。先代の想いや味を継ぎながらも、新しい味にチャレンジし、まちの特産品になるようなものを開発できたらと思っています。



地域おこし協力職員 中野 巧都さん

皆がニコニコなまちに

まちの子供たちに喜んでほしいという思いで、町内のお祭りに仲間と共に食のブースを出しています。旅行者も、ここに暮らすわたしたちも、いつもニコニコしている、そんな中頓別になればいいな。



主婦 四條 佳理さん

自然の中で仕事ができる素晴らしさ

ワンダーフォーゲル部で登山をしていたこともあり、自然の中で仕事がしたいと思い、移住してきました。カヌーや川遊び、スノーシューツアーで外から来た人を楽しませたいと思っています。



そや自然学校スタッフ(地域おこし協力職員) 加藤 志保美さん



移住して驚いたのは、星と森

中頓別に足りないのが、ゆっくりできるカフェスペースや、女子受けするようなお土産品かな? でも、中頓別は星空がすごくきれいで、森に囲まれ、住んでいるだけで毎日が森林療法状態で最高です(笑)。



中頓別・浜頓別町森林組合 秋山 陽子さん

次の世代に伝えるべきことが多いマチ

頓別川での釣り、昔から伝わる食文化、スキーのインストラクターとしての冬の楽しみ方などを次世代に伝えていきたいです。ウーバーの運転手としては、旅人との交流の中で地域の魅力を再発見したいです。



建設会社役員 長谷川 克弘さん



釣り人の天国、中頓別



イトウ釣りの魅力に導かれて、6年前に神奈川県から夫婦で移住し今年、子どもが生まれました。釣り人にとっては魅力の塊の特別な場所だと、世界に向けて伝えていきたいです。



中頓別役場産業課 三浦 毅さん



旅人にも酪農風景を楽しんでもらいたい

うちは国道沿いの牧草地で50頭ほどを放牧しているの、車を止めて牛の写真を撮っている人の姿を時々見かけます。地域の魅力の一つに農村景観があることに気づき、責任と誇りを感じています。



酪農家 十倉 仁さん

中頓別での滞在交流プログラムは国内外のお客様に大好評です!

魅力的なパートナーとどう暮らすかを真剣に考える、都会の女性たちが中頓別に集い、楽しんでくれました。

まちの将来を担う若者を応援【婚活事業】

なかとんべつ青年交流事業の一環としての婚活事業で、町内の7人の男女がサポーターとして、遠方から訪れた女性たちをもてなしました。宿泊、食事の場面で中頓別の魅力を結集させた結果、「なかとんの心優しい人に囲まれて子育てをしたい」という女性たちから高い評価を得られました。



台湾の大学生たちがインターンシップにやってきて、「満天の星とのんびりとした時間の流れ」の中で学ぶ時間に、大きな価値を感じてくれました。

台湾からの来訪者増加を目指す【インターンシップ事業】

4人の学生が38日間中頓別に滞在しました。「素晴らしい星空」、「信じられないほど美味しい牛乳」、「カヌーや魚釣り、砂金掘りなどユニークなアクティビティ」と優しい人に囲まれた幸せな滞在を、レポートにまとめました。



中頓別の雪を見て世界各国からの留学生が、「私が思い求めていた美しい雪はこれでした!」と感激してくれました。

地域の魅力再発見【留学生招聘事業】

北大に通うヨーロッパや東アジア出身の学生たちが、夏と冬に中頓別にやってきました。しばれ祭や水風船キャッチ・夏祭りなどに参加して、多くの住民と交流を楽しみました。札幌では体験できない一次産業との近さに驚き、本当に美しい雪や星に魅了されていました。

